

No. 2454

芽吹きの尾根歩き

白杵山～陣馬山

実施日 2010年4月4日(日)

天候 曇り

リーダー 馬場 清士

参加者 齋恵美子、一柳昭、馬場清士、鈴木恵美子、渋谷賢寿、渋谷京子、遠井謙策、中村友子、伊藤久雄、木代久雄、石原勝正、宇野輝代、柴田政春、ゲスト(鶴崎洋明)

会員13名、ゲスト1名 計14名

費用 1,700円

タイム 武蔵五日市駅(8:15 タクシー)元郷(8:40)白杵山(10:35)市道山(12:00～12:30 昼食)醍醐丸(13:50～14:00)和田峠(14:30～14:40)陣馬山(15:00～15:15)陣馬高原バス停(14:25～14:35)高尾駅(15:15)

2、3日前の天気予報では快晴であったが、当日は曇り空でかなり冷え込む天気となった。

元郷でタクシーを降りてミーティングを済ませ、早速里山の山道に入る。

いきなりの急登が始まり汗が噴出してくる。季節感のない植林の杉林の中をジグザグに高度を稼いで行く。尾根に乗り、右に檜原、左に五日市の町が樹林の木間に見える。なおも急登が続き、桧原村のテレビ中継アンテナをやり過すと白杵神社の前に出た、白杵の山頂は目の前だ。曇り空で山々が霞んでいる。白杵山から市道山まで戸倉三山の縦走路に行く。縦走路は200メー

ルほどの急降下と150メートルほどの急登の道だ。

雑木の芽吹きも始まっておらず、冬枯れの樹林越しに笹尾根の山々が見える。



尾根筋にある桜もミツバツツジもまだ冬眠中で残念でした。

一汗かいて市道山の山頂で昼食を摂るが、冷

え込みが厳しく早々に歩き出す。市道山から醍醐丸まで吊尾根をアップダウンを繰り返しながら越えて行く。市道山を下り始めた分岐に数人の人が立って声を出している、何かと思ったら「ハセツネカップ30」のレースが開催されていた。そういえば朝、武蔵五日市駅前がやけに混雑していたことを思い出した。

市道山から醍醐丸まで約3キロの道のりは「こんにちは」の連続であった。醍醐丸から和田峠に急降下して茶店で休



憩し、一気に陣馬山の山頂に登った。今にも雨が落ちてきそうな雲行きの中、山頂からは山々が霞んで見える。

山頂から樹林帯を下り陣馬高原バス停に下りた。

寒い中であつたが白杵山、市道山、醍醐丸、陣馬山を縦走した充実があつた。里では、梅、ミツマタが満開であつた。

参加された皆さんお疲れ様でした。またご一緒しましょう。

(記&写真・馬場 清士)

